

特集

災害に備えて

あらゆる災害は突然やってきます。私達にできることは、災害が起きた時のために避難経路を確認し、水や食料といった備蓄品や生活用品の常備しておくことです。ここでは、地震、津波などの災害にどのような行動、備えが必要であるかをご紹介します。

地震発生後の行動

いざ大地震が発生したときに、冷静に行動するのは難しいものですが、一瞬の判断が生死を分けることもあります。大地震が発生しても慌てずに対応するための行動パターンを覚えておきましょう。

1 大地震の発生

自分の身を守る	最初の大きな揺れは1~3分間ほどです。家具の転倒やガラスなどの飛散に注意して、テーブルや机の下などに隠れましょう。慌てて外に飛び出すのは危険です。緊急地震速報が発表された時は、ドアや窓を開けて避難出口を確保しましょう。
---------	---

2 揺れがおさまったら

出火防止	出火防止のためにガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とします。もし出火したら、すぐに消火しましょう。なお、震度5相当以上の地震の場合は、ガスメーター(マイコンメーター)が自動的にガスを止めます。
避難出口の確保と避難	ドアや窓を開けて、避難出口を確保しましょう。非常持ち出し品を手近に用意します。また、避難する際には、ガラスなどの破片から足を守るため、必ず靴をはきましょう。
安全確認	家族の安全を確認しましょう。また、ご近所に声をかけましょう。小さい子どもがいる家庭や高齢者などの災害時要援護者がいる世帯には積極的に声をかけて、安否を確認しましょう。

3 安全確認後

避難所への避難	地震発生後は津波の発生が危惧されます。場合によっては家の上階や近くの避難所への避難等、高所への垂直避難が重要となってきます。迅速な避難ができるよう事前に近くの避難所を確認しておきましょう。
---------	--

●家具別の転倒防止対策

タンス・棚

L字金具、ポール、ストッパーなどを使って、壁・柱・鴨居などに固定します。2段重ねの家具は、重ね留め用金具を使って上の家具の落下を防ぎます。特に、ポールを使用する際は、ストッパーや粘着マットを併用しましょう。



テレビ

できるだけ低い位置に置いて、専用の固定用金具やベルトなどで固定します。壁・床に固定されたテレビ台とテレビを直接固定するのが確実です。

照明器具

つり下げ式の照明は、チェーンや金具を使って天井に固定します。

その他の家具などは粘着マットなどで固定します。また、不要なものは処分しましょう。日頃から部屋を片付けておくことで、避難がスムーズになります。

●避難所マップ

近くの避難所の位置や避難経路を事前に把握しておきましょう。村内の避難所は村公式ホームページにも掲載されていますので、ご活用ください。



飛島村からの情報発信

本村では、村公式ホームページ、同報無線、J-ALERTなどによって、災害時の情報発信を行います。さらに、災害に関する情報を迅速、的確にお伝えするために、「防災ほっとメール」を開発しました。携帯電話のメールアドレスを登録することで、登録者に飛島村から災害情報、避難場所、救急医療などの情報を一斉にお伝えします。

●防災ほっとメールの登録方法

携帯電話で、下記URLまたは右図QRコード「防災ほっとメール」にアクセスをして、登録をお願いします。

<http://www.anshin-bousai.net/tobishima/>



QRコード

- 迷惑メール防止対策をされている方は、受信できるドメインとして「anshin-bousai.net」を許可してください。
- URL 付きメールの受信を許可してください。
- メールアドレスの登録は無料ですが、ニュースメールが発行され受信すると、各携帯電話会社の通常のパケット料金がかかる場合があります。(1メールあたり0~2円程度)

同報無線の内容を電話で確認できる音声自動サービス

同報無線で放送した内容を電話で確認していただくことができるようになりました。聞き逃したときや、聞き取りにくかった時などにご利用ください。

☎52-1451

- ※おかけ間違いのないようにお気をつけください。
- ※通話料金がかかります。
- ※混雑時には通話中となる場合がありますので、しばらくしてから再度おかけ直してください。

●問合せ先 総務部総務課